

「教員免許状更新講習 学校教育と体験活動B」

1. 趣旨

社会の発展とともに子どもを取り巻く環境は大きく変化した。特に、自然体験活動の経験が減少し、自然や人との関わりから得られる知恵や知識、能力が身に付かず、「社会性」や「生きる力」が十分に育っていない子どもが多くなっている。

そこで、本講習では学校教育における体験活動の意義を再認識するとともに理解を深め、実際の教育現場での活用の仕方について考える。そのために、大学教員や自然の家職員の講義に加え、自然の家で実施している「自然体験活動プログラム」を実際に体験することによって、体験活動についての基本的な考え方や指導技術等を身に付ける。

2. 主催・共催

主催：国立大学法人 宮城教育大学

共催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家

3. 事業の概要

(1) 期日 平成29年1月21日(土)〔日帰り〕

(2) 参加者

①参加対象及び人数

教員免許状更新対象者 30名

②参加人数 28名

幼稚園・保育園教諭(9)、小学校教諭(11)、中学校教諭(4)、高等学校教諭(4)

4. 企画・運営のポイント

宮城教育大学と国立花山青少年自然の家それぞれの特徴や教育資源を生かし、互いに連携・協力しながら講習を実施した。

5. 日程

時刻	プログラム	内 容 等	場 所
8:30	受付		玄関ロビー
9:00 9:10	【開講式】	インフォメーション 諸連絡(事務局)	大研修室
9:10 10:10	【実習1】 「アイスブレイキングの手法」	講師 国立花山青少年自然の家 主任企画指導専門職 狩野 浩二	大研修室
10:10 11:10	【講義1】 「学校教育と自然体験活動」	講師：宮城教育大学 教授 田端 健人	大研修室
11:10 12:00	【講義2】 「体験学習法の理解」	講師 国立花山青少年自然の家 主任企画指導専門職 狩野 浩二	大研修室
12:40 14:10	【実習2、3】 「火起こし体験」 「焼板作り」	講師 国立花山青少年自然の家 主任企画指導専門職 狩野 浩二	工作館
14:10 15:40	【実習4】 「雪上ハイキング」	講師 国立花山青少年自然の家 事業推進係長 佐藤 英樹	屋外

16:00 16:20	【実習5】 「ふりかえり」(評価と反省)	講師 国立花山青少年自然の家 主任企画指導専門職 狩野 浩二	大研修室
16:30 17:10	【試験】 「筆記試験」	講師 国立花山青少年自然の家 主任企画指導専門職 狩野 浩二	大研修室
17:10 17:15	【評価】 「アンケート記入」	講師 国立花山青少年自然の家 主任企画指導専門職 狩野 浩二	大研修室
17:15 17:20	【閉講式】	インフォメーション 諸連絡(事務局)	大研修室

6. 主な活動内容



【実習1】
「アイスブレイキングの手法」



【講義1】
「学校教育と体験活動」



【実習2】「火おこし体験」



【実習3】「焼き板づくり」



【実習4】「雪上ハイキング」



【実習4】「雪上ハイキング」

7. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：96% やや満足：4% やや不満：0% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・素晴らしい自然の中で体験学習の意義について振り返る良い機会となりました。
- ・何事も経験・体験から学ぶものと実感しました。
- ・子どもに対して、笑顔で接してほめることを意識したいと再確認する研修でした。
- ・異なる地域からの参加者と親しくなれ、充実した実習で楽しく参加できました。

(3) 成果

- ①参加者の満足度の高さと自由記述等から、参加者のニーズに合った講義・実習を組み入れることができ、受講者から高い評価を得ることができた。
- ②講義の前に「アイスブレイキングの手法」を実施したことにより、講義におけるグループワークを和やかな雰囲気の中で実施することができた。

(4) 課題

今年は、異常気象ではないかと思われるくらい降雪が少なく、雪上ハイキングが実施不可能ではないかと心配した。講習の数日前に降雪があり、当日は予定通り実施することはできたが、荒天時プログラムとは別に、少ない雪の量でも活動できるプログラムを準備する必要があると感じた。あらゆる状況の中で、参加者が満足してもらえるプログラム開発を継続していきたい。

担当：主任企画指導専門職 狩野 浩二